

2024 年 8 月 19 日

日本獣医生命科学大学

学長 鈴木 浩悦

日本獣医生命科学大学における生成 AI 利用ガイドライン

昨今、ChatGPT を始めとする高度な生成 AI が数多く開発・公開され、手軽に利用できるようになりました。生成 AI は、適切に活用することで教員の教育・研究の効率化や学生の学修効果・AI リテラシーの向上につながると考えられます。そのため、本学としては生成 AI の使用を一律に禁じることはせず、上手に利活用して頂きたいと考えています。一方で、生成 AI を不適切に使用すると、教育・研究の質や学修効果の低下につながるばかりでなく、倫理的・法的な問題が生じる可能性があることも十分に理解しておく必要があります。

それらを踏まえ、本学は生成 AI を利用する際のガイドラインを以下のようにまとめました。学部、大学院、教員組織および動物医療センターにおける運用の手引きにつきましては、別途定めますので参照して下さい。

- ・本学の教育上の目的・3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に沿った考えに基づいて生成 AI を利活用して下さい。
- ・漏洩の危険性があるため、生成 AI への個人情報や秘密・機密情報の入力禁止とします。
- ・生成 AI が作成した文章等には、しばしば誤った内容や情報が含まれています。生成 AI が作成した文章等を利用する場合は、必ず自分自身で内容や情報の正確性を確認して下さい。
- ・生成 AI が作成した文章・画像等には、他者に権利が帰属するものが含まれる可能性があります。生成 AI が作成した文章・画像等の利用方法によっては権利侵害となる可能性があることに留意して下さい。